

2015年3月31日  
公立大学法人大阪市立大学

「中心静脈カテーテルに関する医療事故調査委員会の調査報告書」を公表します

大阪市立大学医学部附属病院は、平成26年7月21日(月)に発生したCVカテーテルの逸脱により患者が一時心肺停止状態になるという医療事故(公表済み)に関して、平成26年10月6日(月)に3名の外部有識者を含む医療事故調査委員会を設置し、2回の委員会を開催して検討してまいりましたが、このほど調査報告書がまとまりましたので公表します。

調査報告書においては、事故の原因について、CVカテーテル挿入時の確認、患者が異常を訴えた際の対応、休日・夜間の医師の当直体制や経験の浅い医師への教育・サポート体制など様々な要因が影響しているとして、当直体制、連絡体制の整備・構築、職員をサポートする相談システムの構築、若手医師の教育体制の強化などの再発防止の提言を行っております。

本院では、今後、医療事故調査委員会の提言等を真摯に受け止め、医療事故の再発防止に努めてまいります。

[医療事故調査報告書はこちら](#)

【お問い合わせ】

大阪市立大学医学部附属病院

医療安全管理部

tel 06-6645-2770 / fax 06-6632-7114